

男女共同参画社会をめざす情報紙

さざなみ



NARITA

No. 18号

成田市
2008年8月発行



～あらゆる場に男女が参画し 協働するまちづくり～



焼け付く日差しもプールの中では気持ちいい。

笑顔がはじける真夏の一日です。

新装なった大谷津プールで

★Contents (主な内容)★

- ☆ 聞かせてください あなたの思い
- ☆ 男女の健康コーナー
- ☆ 男女共同参画推進員の役割と活動
- ☆ さざなみインフォメーション

◆男女共同参画社会基本法5本の柱

- ①男女の人権の尊重
- ②社会における制度又は慣行についての配慮
- ③政策等の立案及び決定への共同参画
- ④家庭生活における活動と他の活動の両立
- ⑤国際的協調

聞かせてください あなたの思い

～政策・方針決定過程への男女共同参画を促進する仕組みづくり～

男女共同参画社会の実現には、あらゆる場面に女性の声が届くことが大切です。下記のグラフは、成田市の各種審議会等への女性の参画率の推移です。

市の各種審議会等の女性の割合については30パーセントを目標に取り組んでおります。しかし、達成にはきびしいものがあります。

市として、女性の参画の取組みとして、改選時に公募制を推進しています。

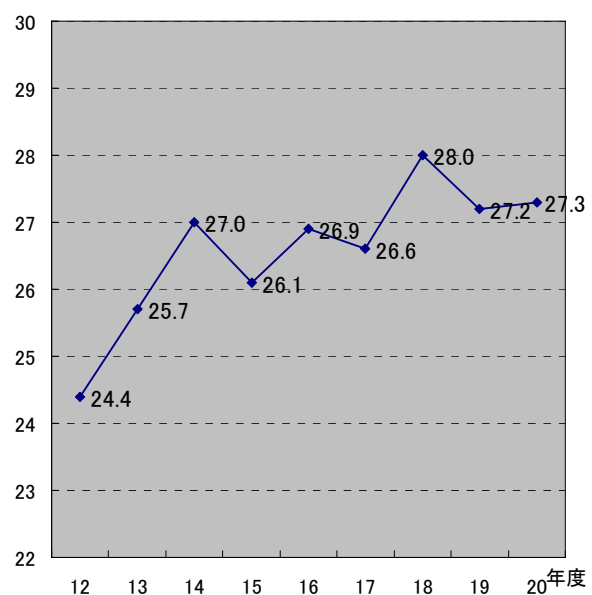
あなたの考えや思いを市政に反映させてみて下さい。

～ 審議会等の今年度の状況 ～

○審議会等の件数	51件
○上記の定数	838人
○現委員数	737人
○うち女性委員数	201人
○公募による委員数	24人



審議会等における女性委員の参画率の推移



男女の健康コーナー

～こむら返り～

ふくらはぎや足の裏の筋肉が突然けいれんを起こし、強い痛みを伴うこむら返り。夜寝ている時、ふと足を伸ばしかけた途端に激痛が走り、余りの痛さに目覚めた経験をもつ人が多いと思います。こむら返りは、就寝中に足を伸ばしたときや、普段運動不足の人が準備運動をしないままスポーツをしたとき、冷たいプールで水泳した時などに起こりやすく、また、糖尿病や肝疾患、高齢者や妊婦に起きやすいといわれています。水分不足や筋肉の疲労、電解質のアンバランスがあつたりすると筋肉の収縮が正常にできなくなり、糖尿病などのある人は代謝の異常が原因であると考えられています。

特に、汗とともにカリウムなどミネラル分も失われやすい夏場は要注意な季節です。片方の手で痛いところを優しくさすり、もう片方で足のつま先をゆっくり顔の方へ曲げるようにしてふくらはぎの筋肉をのばしてみてください。

★ ころやからだの健康に関する相談は健康増進課へ（保健福祉館 電話 27-1111）

～男女共同参画推進員の役割と活動～

市では、市民の参画により男女共同参画の推進を図るため男女共同参画推進員を委嘱しています。家庭や職場、地域社会など、「あらゆる場に男女が参画し 協働するまちづくり」を推進するため、セミナー等の企画運営に携わり一人ひとりの意識の啓発に取り組んでいます。



☆ある日の運営会議☆

☆推進員になると

(1) 会議への参加

「男女共同参画講座」の日程が決まると、セミナー等の運営の仕方・役割を決定するため、会議が開かれます。

(2) セミナー当日の運営

(3) 情報の収集・地域への啓蒙

各セミナーでのアンケートの集計や、メディア等を通じて情報の収集に努め、また、地域における男女共同参画社会への啓発に取り組んでいます。

☆推進員は

- ・ 全員一般公募 (男女問わず)
 - ・ 任期 一年間 (再任可)
 - ・ 定数 10 人以内
- で組織されています。

※公募については、広報なりたやホームページに掲載します

奏でる四季!



写真は、今年 25 周年を迎えた成田市大正琴連盟の皆さんの演奏風景です。病院や施設で奏でる音は、聞く人と弦を弾く人をひとつにします。

地域に出て、笑顔をいただけるのが一番ですという元気な女性会員の皆さんです。

☆ 推進員の想い

～自己改革～

男女を問わず、共に人として認め合うこと。より良い仲間作りから地域社会作りへと働きかけること。それには、自らが自立していきいきと生きていくための自己改革が必要なこと。このようなことを推進員を 2 年間勤めて感じたことです。(推進員 衣笠)

～私の願い～

私たちの日常生活の中にある季節の歳時の由来について、親は子供に語れるでしょうか。

「七夕はなぜ」、「門松は何の為に」、「お盆はなぜあるのか」など。

四季折々の歳時について、意外に知らないことが多く、無くした文化が多いと思いませんか。歳時が消えつつある時代、心のヒダがきえつつあるとも指摘されている今日、私たち大人はこうした日常の生活文化を大切にする必要があるのではないのでしょうか。(推進員 太田)

さざなみインフォメーション

◆10月5日フォーラム・イン・ナリタ開催

国際市民フェスティバルと共催して、フォーラム・イン・ナリタを開催します。

男女共同参画社会の実現に向けて今年度は、樋口恵子さんと林家花丸さんによる「これからの女と男のいい関係」と題しての講演会です。高齢化問題や女性問題のエキスパートである樋口さんと、落語を通じて男女共同参画社会の普及にも携わっている林家さん。落語・講演・トークショーと盛り沢山でお待ちしています。

※申し込みは下記企画課へ。



◆読んでみたい! 新着図書

- ◇ 「家に帰らない男たち」
松井 計 著 扶桑社
- ◇ 「兄弟は他人の始まり」
真島 久美子 著 講談社
- ◇ 「現代の女性労働と健康」
北原 照代 著 ひしがわ出版
- ◇ 「働くママの仕事と育児」
たまごクラブ編 ベネッセコーポレーション

※市立図書館に蔵書済みです。ご利用下さい。

◆おたより募集中!

☆「さざなみ」に取り上げてほしいことや男女共同参画に関するご意見・ご感想などをお送りください。お待ちしております。

☆おたよりの送付先

〒286-8585 成田市花崎町 760

成田市企画政策部企画課 男女共同参画班

☎ 20-1501

ファックス 24-1006

Eメール kikaku@city.narita.chiba.jp

⊗働くお母さん・お父さんの豆知識⊗

「ファミリー・サポート・センター」

■ファミリー・サポート・センターとは、地域において育児の援助を受けたい人とお手伝いをしたい人が会員となりお互いを助ける会員組織です。この事業は、働く人々の仕事と子育ての両立を支援する目的から労働省（当時）が構想し、設立運営は市区町村が行っています。

当市では、保育施設までの送迎や、子供の預かり、産前産後の家事支援などを『なりたファミリー・サポート・センター』として成田市社会福祉協議会が事業を運営しています。

※利用方法等の問合せは、成田市社会福祉協議会(☎27-8010)へ

編集後記

7月の光景です。毎朝、3人の小学生がひまわりと背比べをしていきます。子どもたちより小さかったひまわりは、どんどん大きくなり、子ども達を追い抜きました。「どのひまわりよりも小さいんだ」とつぶやいた子供達。大丈夫! 夏が終わるころにはみんな大きくなってるよ。

さざなみは、支所、公民館、図書館、保健福祉館、三里塚コミュニティセンター、市のホームページ <http://www.city.narita.chiba.jp> にあります。